

令和3年度(2年度実績) 総合評価書 <施設名 笠原中央公民館>

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成28年4月1日 ～ 令和3年3月31日
3. 業務の範囲	(1)維持管理に関すること。 (2)運営業務に関すること。

4. 採点表		評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	年次報告書P312(利用率) 【利用率(全体)】 16.1% 【利用率(部屋別)】 視聴覚室:16.4% 会議室1 :39.2% 会議室2 :14.6% 会議室3 :18.4% 料理教室:7.8% 和室1 :22.7% 和室2 :11.4% 茶室1 :2.5% 茶室2 :0.7% ホール :13.3%	4点	新型コロナウイルス対応 一律4点)	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	4点			
			②利用人数	5	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	年次報告書P313(利用人数) 【利用人数(全体)】 24,074人 (R1)53,712人 【利用人数(部屋別)】 視聴覚室: 2,138人 会議室1 : 8,939人 会議室2 : 1,435人 会議室3 : 1,530人 料理教室: 828人 和室1 : 2,879人 和室2 : 1,855人 茶室1 : 141人 茶室2 : 64人 ホール : 3,850人	4点	新型コロナウイルス対応 一律4点)	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	4点			
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	年次報告書P313～321 <高齢者対象講座> ・ことぶき学級 歌のひろばたのしく歌おう 11回 78人 <生涯学習講座の開催> ・かさばらHappyスクール(通年講座) スッキリ疲れがとれるヨガ 他 39回 558人 ・成人講座 大人の美容バレエエクササイズ講座他 19回 241人・親子・子ども講座4回 29人 <文化祭>・アザレア文化祭 ステージの部 500人 展示の部 公民館利用団体、講座受講生、笠原校区幼保小中の方で開催 <子ども和太鼓事業>・かさばら和太鼓クラブISAMI 26回 625人 <かさばら探検隊事業> 13回 156人 ソーシャルディスタンス帽 清昌寺で修行 演劇体験他 <地域事業への協力>・シトラスリボンプロジェクト・笠原カレンダー制作協力 ・NPOまいて支援他 <地域交流事業>・異世代交流七夕会 10人 ・「かさばらの昭和」写真展 ・幼保への出張大道芸 2回 200人 ・笠原クリーン大作戦 30人 子ども工作の日 30人 他 <ホール事業>・和太鼓コンサート「音撃」120人 ・めくるめくロマンスコンサート 50人 <芸術体験事業>・絵手紙講座作品展示	仕様書以上 13点	・コロナ禍でも“できること”を模索し、数々の事業が実施されている。 ・かさばら探検隊では、地域を素材としながら、逆境を逆手にとった柔軟なプログラムで子どもの成長につなげた。 ・定員を半減してソーシャルディスタンスを確保するなど感染予防の徹底を図り、子どもから成人、高齢者まで全世代を対象とした多様な講座が実施された。 ・地域行事の代わりに地域の幼稚園・保育園出張事業を行い、思い出づくり体験の機会を提供した。 ・アザレア文化祭展示の部では、公民館の定期利用団体だけでなく、幼保小中、地域の一般も巻き込み、「地域の文化祭」となっている。 ・文化祭ステージの部では、出演団体間の時間を空けて換気の時間を設けるなど工夫しながら感染予防をし、文化活動団体に発表の場を提供した。 ・昭和30年・40年代の写真展を行い、地域の再発見と人のつながりを生むきっかけを作った。 ・地域の若い芸術家や公民館の和太鼓講師のコンサートを行い、活動を支援した。 ・笠原クリーン大作戦では、中学生のボランティアの活躍の場を提供するとともに親子での参加を促すなど、子どもの頃からの郷土愛を育むことにも取り組んだ。	13点					
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P.322～331参照(事業報告書) ・100人のプレミアムなセカイ ・落語の世界 2回 240人 ・企画展示 1回 ・生涯学習講座 19回 212人 通年講座 19回 252人 ・子どもノナカ研究所 2回 12人 ・kasamate(かさめいと)事業 6回 32人、メンバー絵画展 1回 ・パパと過ごす休日イベント 1回 4人 ・子ども手芸教室 4回 31人 ・ほのぼのあそびパーク 7回 135人 ・マードーミステリー事業 4回 39人※テスト含む ・ボードゲームフェスタ 2回 54人 ・ミニマムボードゲーム体験 1回 2人 ・謎解きゲーム 3回 8人 ・うながっぱグッズ販売 ・2階漫画コーナーの充実 ・かさばらカレッジ悠遊塾 14回 290人	期待以上 12点	・コロナ禍においても“できること”を模索し、数々の事業が実施されている。 ・さまざまな団体や機関と連携を図りながら、幅の広い事業を行っている。 ・生涯学習講座では、在宅時間の充実や免疫力の向上といった、コロナ禍で必要とされるテーマを盛り込みながら実施した。 ・男性対象の講座など、利用対象を拡大する取り組みがなされた。 ・学校や地域の行事に代わって、中学生の活躍の場を積極的に設けた。また Kasamate(カサメイト)事業では、子どもたちの様々な挑戦を支援し、次世代育成に力を注いだ。 ・子どもノナカ研究所講座では、地域の企業の協力のもと、学校では学ぶことのできないノナカに関することを学ぶ機会を提供した。 ・パパと遊ぶためのイベントや、工作・手芸教室といった講座で、地域の子どもの小さいころからの公民館利用を促進する活動に取り組んだ。 ・ボードゲーム、マードーミステリーといった新しい文化の振興を通じて、若い世代の利用を促し、公民館運営に取り込むことができた。 ・悠遊塾事業では、地域の方が主体となったサロン運営をサポートし、高齢者の課題解決のための講座や健康につながる活動など多様なプログラムを実施した。高齢者の心のよりどころとなるまでになっている。 ・コンサートや落語といったホール事業を、スタッフが模索しながら感染対策を行い、来場者に生きる活力を提供した。	12点					
		(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・年次報告書P332 (①清掃) ・利用者の利用方法などを把握して重点的な清掃を行った。 ・公共部の廊下の剥離清掃などを行った。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点				
	②保守・点検	・年次報告書P332、333 (②保守・点検) ・数多くの点検、保守項目を実施。	適正(普通) 2点			適正に実施されている。							
	③保安・警備	・年次報告書P333 (③保安・警備) ・警備スタッフと一体となって施設内の安全を図り、老朽化する施設異常の早期発見に努めた。	適正(普通) 2点			適正に実施されている。							
	④小規模修繕	・年次報告書P333,334 (④小規模修繕) ※笠原中央公民館 26件 総額 1,365,768円(図書館笠原分館含む)	適正(普通) 2点			適正に実施されている。							
	⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)	・年次報告書P335 (⑤危険箇所の把握) ・日常的な点検で五感を活用して施設を診るとともに、利用者や地域の方とのコミュニケーションなどから早期に施設の異常、危険箇所の把握に取り組み、対応している。 ・「もし〇〇だった場合」というように想像力を働かせしながら危険につながる前に対応している。	適正(普通) 2点			適正に実施されている。							

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	年次報告書P336(①文書管理) ・個人情報収集する際には必要最低限の内容で留めるようにし、ファイリングシステムを有効に活用し、保管・廃棄・整理されている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
			②環境への配慮			年次報告書P336(②環境への配慮) ・笠原中央公民館を起点とし、地域の団体・個人方と清掃して歩く「クリーン大作戦」を実施。小さな親子や中学生、地元の団体などを巻き込みながら美化につなげた。 ・広い屋外環境の整備にも力を注いでいる。	適正(普通) 2点	適正に管理されている。 ・イベントという形をとって、環境への意識を向上させる要素を盛り込んだ。		
			③バリアフリー			年次報告書P336(③バリアフリー) ・車いすの方が届かない高さの窓を開ける、視覚障がい者の方を見かけたら積極的にサポートするなど、職員が意識して障害をもった方のサポートを行い、バリアフリーな施設づくりに取り組んでいる。 ・ホール事業の際、足の不自由な方が離れた駐車場に車を停めるということがないように、臨時に専用駐車スペースを設けた。	適正(普通) 2点	適正に管理されている。 ・職員の意識づけから、バリアフリーな施設づくりに取り組んでいる。		
			④備品管理			年次報告書P336(④備品管理) ・日常的な点検から安全を確保するよう確認し、故障箇所発見時には極力長く使用できるように、こまめに修理を行い、危険な際には適宜廃棄や交換を行っている。	適正(普通) 2点	適正に管理されている。		
			⑤個人情報保護			年次報告書P336(⑤個人情報保護) ・コロナ関連で収集した個人情報は一定期間保管ののち、適切に廃棄している。 ・慎重な個人情報の取り扱いを徹底している。	適正(普通) 2点	適正に管理されている。		
			⑥事故等への対応			0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	・年次報告書P337(事故等への対応) 重大な事故は特になし		事故なし・対応に不備なし 0点
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入120,699,002円÷支出125,138,507円＝96.4% 笠原地区文化体育施設事業として全体収支としています。	100%未満 3点	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ) 収入において多治見市より別途「新型コロナウイルス感染症対策指定管理者緊急支援金」として283,316円を交付	4点	
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	◆コロナだからできないではなく、ピンチをチャンスに変える“いまだからできること”に取り組む→マードーミステリーという新しいジャンルや開催方式に挑戦・男性のためのヨガ教室・おうち時間の充実のための小規模ボードゲーム体験など新しいことに挑戦している。 ◆シトラスリボンプロジェクトへの支援→コロナ禍にあって地域をひとつにする動きを大切にして支援。アドバイスなども行った。 ◆地域の方々の一つの居場所として機能→何度か中止になった悠遊塾事業では開催を望む声に添えて開催。 ◆障がい者の方への積極的な働きかけをすることで、誰にとっても利用しやすい施設づくりに取り組んだ。	期待以上 9点	要望に対し、迅速かつ適切かつ細やかに対応できている。 ・悲観的になりがちな現状を肯定的に捉えることで、前向きな運営がされた。 ・新しい取り組みに挑戦をしている。 ・地元の新しい動きに対応して支援することができた。 ・これまで取り組んできた事業が、開催に対して要望の声が上がるほどまでに成長、浸透し、それに応える形で実施した。	9点	
		②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情・事故が起こる前に対応することに心掛けて取り組んだ。 ◆保育園からの出入り口の鎖が、夜見にくいという声があったため、鎖に沿って目立つように飾りをつけた。	適正(普通) 4点	・苦情につながらないように事前の取り組みを行っている。 ・要望があった際にも、迅速かつ適切な対応ができています。	4点		
4		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	◆遠方からの来訪者のニーズに応え、うながせばグッズの販売を開始。多治見の情報も豊富に提供 ◆町の魅力の再認識のために ・笠原町の写真展 ・ロビー陶壁が他市から来た方にとって興味を引くことから、モザイクタイルミュージアムの協力で説明文を設置 ・笠原町史のPR展示を実施 ◆緊急時対応のための備え ・消防署主催の図上訓練を受講 ・体育館と合同で夜間職員対象の消防訓練を実施 ・多治見市のコロナ禍中の避難所開設訓練に参加し、非常時に対して備え ◆感染拡大防止への取り組み ・利用者のみならず職員による消毒も徹底した。 ・マスクの入手が困難な時期には、手作りの簡易マスクを作成し、忘れてきた方へ配布 ・飛沫感染防止シートの設置 ・自動検温器、自動噴霧器の設置 ・ホール事業では笠原のキャラクターで座れない座席を指定 ・全席指定の事業は販売当初から定数を半分にした状態で販売しチラシに掲載 など安全性を高めるとともにイベントへの参加がしやすように取り組んだ。 ◆使用状況を分析し、機の軽量化と配置の見直しを行うなど利用しやすさへの改善 ◆階段の足元の汚れを再塗装し、快適性を向上 ◆予防修繕の実施で安全性を高めた。 ・夜になると暗くなる箇所へ自動点灯の電灯を設置 ・屋外からホールへの出入り口に苔が発生し、雨天時など転倒が予想されたことから除去 ・屋外のタイル張り部分の防滑塗装及びまわり階段の誘導矢印に剥がれがあったため、事故につながる前に修繕を実施 適正に実施しています。	期待以上 12点	より良い施設運営・事業実施のための提案がなされている。 ・市内でも特に他地域の方が多く訪れる場所になっていることを認識し、そこで与えられた役割を果たすべく、多治見市のPRや来訪者へのニーズに応える取り組みがなされている。 ・町や施設の持っている魅力にスポットを当て、再認識するように取り組んだ。 ・様々な状況を想定した訓練がされ、安全性の向上に取り組んでいる。 ・利用者にとって安全な施設づくりのため、新型コロナウイルスへの対応を考え、徹底した取り組みがなされている。 ・利用者の利用方法などを把握し、考慮した上で改善が図られている。 ・危険な箇所に対しての予防修繕に取り組んだ。	12点	
			(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3		遅れ・不備なし 減点なし		0点	
5	その他 (減点方式)	(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点	
			合計						100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下
										良好